

## 《会議・委員会等報告書》

報告者： 佐々木 順 造

報告区分： 部内

会議等名称： 平成21年度第12回大学院医歯薬学総合研究科倫理委員会

開催日時： 平成22年3月23日 16時30分 ～ 20時05分

開催場所： 医学部中会議室（医学部管理棟3階）

出席者： 9名 （欠席者） 成松委員

議事内容：

- (1) 議事要旨（2月23日開催分）の確認について  
委員長から、議事要旨(案)（資料1）について説明があり、承認された。
- (2) 色素法による新しい肺区域同定法の開発  
研究責任者： 岡山大学病院 医員 杉本 誠一郎  
審議の結果、申請書等の字句・文面を一部修正することが確認され、承認された。
- (3) イマチニブ抵抗性または不耐容の慢性期慢性骨髄性白血病に対するダサチニブの第Ⅱ相臨床試験  
研究責任者： 岡山大学病院 講師 品川 克至  
審議の結果、申請書等の字句・文面を一部修正することが確認され、承認された。
- (4) 超音波内視鏡ガイド下胆管ドレナージ術の有効性と安全性に関する検討  
研究責任者： 岡山大学病院 助教 河本 博文  
審議の結果、承認された。
- (5) 心エコー図読影スキルアップのための有料学習ポータルサイトに対する心エコー図画像提供  
研究責任者： 大学院医歯薬学総合研究科 教授 伊藤 浩  
審議の結果、申請書等の字句・文面を一部修正することが確認され、承認された。
- (6) アトピー性皮膚炎におけるカリクレインの発現とその制御機構に関する研究  
研究責任者： 岡山大学病院 助教 森 実 真  
審議の結果、継続審議となった。
- (7) 自己免疫性肝炎症例の血清パネル作製  
研究責任者： 大学院医歯薬学総合研究科 教授 山本 和 秀  
審議の結果、申請書等の字句・文面を一部修正することが確認され、承認された。
- (8) 高齢者造血器疾患に対する、リン酸フルダラビンと静注ブスルファンによる移植前治療を用いた造血幹細胞移植の安全性と有効性の検討  
研究責任者： 岡山大学病院 講師 品川 克至  
審議の結果、申請書等の字句・文面を一部修正することが確認され、承認された。
- (9) 脊椎疾患における腰下肢痛に対する神経ブロック効果の調査  
研究責任者： 岡山大学病院 医員 石川 慎一  
審議の結果、承認された。
- (10) 慢性疼痛患者における症状と疼痛の範囲と生活の質の検討  
研究責任者： 岡山大学病院 医員 石川 慎一  
審議の結果、申請書等の字句・文面を一部修正することが確認され、承認された。
- (11) 超音波ガイド下頸部神経根ブロック薬液の拡がりの検討：観察研究  
研究責任者： 岡山大学病院 医員 石川 慎一  
審議の結果、申請書等の字句・文面を一部修正することが確認され、承認された。
- (12) がん抗原の同定とがんの検査・診断法の開発  
研究責任者： 自然生命科学研究支援センター 准教授 小野 俊 朗  
審議の結果、承認された。

(13) 迅速審査

- 1) 薬物療法を受ける若年性乳癌患者に対する妊娠を主とする女性機能相談支援システムの作成

研究責任者： 岡山大学病院 助教 枝園 忠彦

審議の結果、承認された。

- 2) ヒト正常上皮組織および当該組織に由来するがん細胞の初代培養とタンパク質・遺伝子発現解析

研究責任者： 大学院医歯薬学総合研究科 教授 許 南 浩

審議の結果、承認された。

- 3) 受付番号746 ボツリヌス菌及びボツリヌス毒素の取扱者へのトキシイド接種

研究責任者： 大学院医歯薬学総合研究科 教授 小 熊 恵 二

審議の結果、承認された。

- 4) 受付番号790 喘息を中心とする呼吸器疾患におけるアルギナーゼ及び一酸化窒素関連バイオマーカーに関する研究

研究責任者： 大学院医歯薬学総合研究科 教授 荻 野 景 規

審議の結果、承認された。

(14) その他

- ① 次回開催日について

次回開催予定日 平成22年4月27日（火）大学院医歯薬学総合研究科ヒゲム・遺伝子解析研究倫理審査委員会終了後～

- ② 有害事象の報告について

委員長から、机上配付資料に基づき、倫理808（平成22年2月23日承認）において有害事象の報告があった旨報告があった。なお、主管校（東北大学）の対応等について次回の倫理委員会で報告することとなった。

- ③ 委員の交代について

委員長から、机上配付資料に基づき、平成22年度倫理委員会委員の交代及び新規の新委員について説明があった。

- ④ 委員の退任について

大月委員及び谷垣委員から退任の挨拶があった。

- ⑤ 新たな治験活性化5カ年計画の中間見直しに関する検討会報告について

委員長から、机上配付資料により、文部科学省から通知のあった「新たな治験活性化5カ年計画の中間見直しに関する検討会報告」について説明があった。